

—総括表—	
◆ 事業計画	
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性	
担当圏域の65歳以上の高齢者は約6,800人（高齢化率23.8%）で、その73%にあたる約5,000人が新吉田連合地区で、27%である約1,800人は新吉田あすなろ地区である。横浜市の高齢化率よりは低いものの区内で3番目の高齢化率の圏域である。新吉田あすなろ地区は、高齢化率26.5%で新吉田東2丁目（新吉田自治会やパークホームズやイトーピア、フォルム綱島等のマンション群）の高齢化率が近年、急速に増加している。連合町内会単位で見ると、高齢化率、高齢者独居世帯割合はともに区内1である。一方新吉田連合地区全体は高齢化率22.9%であるが、新吉田東8丁目15%～新吉田町30%と高齢化率に幅がある。各連合町内会での特性があり、同じ連合町内会でも各町内会単位での特性があり、その特性を鑑みた、町内会単位での支援が必要と考える。コロナ禍、地域住民による町の活動の推進が鈍化している。地域住民が安心して地区の活動ができるよう、感染への不安に寄り添い、適切な感染予防対策を助言できることが大切と考えます。	
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組	
新規	継続
—具体的な取組内容—	
<input type="checkbox"/>	地域ケアプラザ機能を地域へ周知し理解されている。 様々な地域の活動や会議等積極的に参加して、また、地位域の商店や医療機関等にチラシの掲示を依頼したりして、地域ケアプラザ機能を積極的に周知することにより支援が必要な方高齢者等が地域で孤立することなく早期に発見するための担い手協力を依頼し、適切な支援が迅速に届けられる地域ネットワーク構築を推進します。
<input type="checkbox"/>	地域に潜在している課題をを把握して、課題解決に向けて支援が必要な方へ迅速に適正な支援が届けられる。ケアプラザが地域の様々な活動会議等に積極的に参加して、その課題をを把握するとともに、地域の力を活用して支援が必要な方を早期に発見するネットワーク、その支援を地域で支えて下さる担い手の発掘します。地域で支え合う、共助の取り組みの継続支援、新たな仕組みづくりを支援します。
<input type="checkbox"/>	総合相談窓口体制は輪番制とし、迅速な相談対応に努めます。 相談内容に応じた専門職種と連携を図り適正な支援に取り組むことで、地域からの信頼を重ねて参ります。。また、個別の課題解決支援を積み重ね5職種間でその情報共有さらに介護保険事業との定期的な情報共有することで、潜在化した地域課題の抽出、その課題解決に向けた取り組みを一体的に行います。
<input type="checkbox"/>	地域住民等認知症について正しく理解できている。 認知症になっても、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症サポーター養成講座の開催やキャラバンメイト育成支援します。また、地域の徘徊高齢者者支援ネットワーク、さがしてネットの事務局を担い、合同模擬訓練をはじめ地域の方々の認知症高齢者への理解を広げ、地域住民による共助の取り組みを支援します。。
<input type="checkbox"/>	新しく着任される区地区担当職員等が地域ケアプラザの機能、役割、現状の取り組みについて理解が深まる。必要な情報を共有し、課題解決に向けて効果的な役割分担の下取り組みます。これまで通り、地域の様々な活動等に積極的に参加して、区担当職員等とも情報共有するとともに、区担当職員より依頼があったケアプラザ主催で開催している地区の担当者の情報共有の場（会議）の開催回数を今年度は増やします。
◆ 事業報告・事業実績評価	
<input type="checkbox"/> 振り返り	
<input type="checkbox"/> 区からのコメント	

令和3年度新吉田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>総合相談窓口等ケアプラザ業務は、担当職員一人一人の言動を含め、利用者や事業者等から不信を招くことがないよう、公正・中立性を意識を高めた対応をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防ケアプラン作成委託先の偏りがなく努めます。 ・ケアマネジャー選定支援の際には複数の事業所を提示して選択肢があることを相談者にお伝えしたうえで、相談者が選定できるよう支援します。 ・居宅介護支援では、利用者の選択に基づき、提供される居宅サービスが特定の事業所に偏りことなく、適切なサービスが多様な事業所から総合的に提供されるように努めます。 ・部門別アンケートを年1回実施して、その業務の公正・中立性を振り返る機会を持ちます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者による建物・設備の定期的な保守点検、担当職員による日々の点検により、異常の早期発見し、適切な修繕を実施します。安全・安心な施設利用、サービス提供について、職員一人一人がその意識を高めるため、定期的な会議や日々のミーティング等でひやひはっと等の振り返りする時間を持ちます。 ・ドライブレコーダーの点数化機能を活用した自己点検等、安全運転意識の向上に努めます。 ・所長は個人情報管理者を担い、法令、法人の個人情報管理規定に基づいた、適切な個人情報管理に関する取り組みを推進します。 ・個人情報の取り扱いについて、職員一人一人が忙しくても、その取扱いルールを守るということが、漏洩防止につながるという意識を高めます。 ・年に1回は貴人情報の取り扱いに係る研修及び...
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>その方が持つ能力や思い等、その方の特性を踏まえた生活機能向上を目標としたケアマネジメントを実施し、地域のインフォーマルサービス等多様なサービスの中からご自身で選択できるよう支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その方が可能な限り居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むために必要な居宅サービスが適切に利用できるよう、ケアプランを作成するとともに、当該計画に基づいて適切な居宅サービスの提供が確保できるよう、連絡調整します。 ・地域ケアプラザの居宅介護支援事業所であることを自覚し、丘の上倶楽部等でのリーダーシップを積極的に担い、地域の質の高いケアマネジメントを目指し、またその方が住む地域の社会資源開発に資する取り組みをして参ります。
利用料金・実費負担	<ul style="list-style-type: none"> ・法定代理受領サービスである場合は、ご利用者負担(利用料)はありません。 ・通常のサービス提供地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費(実費)の負担をお願いすることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法定代理受領サービスである場合は、ご利用者負担(利用料)はありません。 ・通常のサービス提供地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費(実費)の負担をお願いすることがあります。
職員体制	<p>管理者1名(社会福祉士) 主任介護支援専門員1名 保健師1名 社会福祉士1名 介護支援専門員(非常勤) 1名</p>	<p>管理者1名(主任介護支援専門員) 介護支援専門員4名(うち主任介護支援専門員3名)</p>
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした空間の中でご自身で楽しみが見つけれられるよう支援します。 ・日常生活動作の一つ一つがリハビリと捉え、残された力で生活の喜びと自信を感じられるよう支援します。 ・職員やご利用者同士で安心して過ごせる社会交流の場を提供します。 ・個別ニーズに柔軟に対応した適切サービス提供に努めます。 ・食前の口腔体操、食後の口腔ケアの励行、お食事の形態への配慮等に対応し、誤嚥性肺炎の発症防止に努めます。 ・介護者が安心できる介護者負担 		
実施体制	【実施日数】 週6日(日曜日休業) 【提供時間】 介護9:00～16:00(7時間) 予防10:00～15:00(5時間) 【定員】 35名(一体型)	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金 ・ 実費負担	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等により定められた基準によるものとし、利用者ごとに保険者が判定した負担割合に応じて徴収します。 ・昼食代・おやつ代(750円/食) ・キャンセル料(食材料費代 500円) 		
職員体制	管理者1名 生活相談員3名 看護職員(機能訓練員兼務)4名 介護職員14名 送迎職員8名 事務職員1名		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「新吉田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,084,010		19,084,010		19,084,010	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)			0		0	
雑入		0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
収入合計	19,084,010	0	19,084,010	0	19,084,010	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,382,062	0	13,382,062	0	13,382,062	
本俸	6,300,000		6,300,000		6,300,000	給与本俸
社会保険料	1,300,000		1,300,000		1,300,000	健康保険料・厚生年金料・雇用保険料・労働保険料
手当計	3,300,000		3,300,000		3,300,000	期末手当・超過勤務手当・通勤手当
健康診断費	100,000		100,000		100,000	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	100,000		100,000		100,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他	2,282,062		2,282,062		2,282,062	特業手当等
事務費	843,400	0	843,400	0	843,400	
旅費	20,000		20,000		20,000	市内出張交通費
消耗品費	265,000		265,000		265,000	事務用品費・コピー用紙等
会議賄い費	8,400		8,400		8,400	会議費
印刷製本費			0		0	
通信費	450,000		450,000		450,000	電話代・後納郵便代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	120,000		120,000		120,000	施設賠償責任保険・指定管理者賠償責任
職員等研修費			0		0	
振込手数料	30,000		30,000		30,000	月末支払い・振込料・給与振込料
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0		0	
事業費	1,382,083	0	1,382,083	0	1,382,083	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	予算：指定額
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	1,340,083		1,340,083		1,340,083	
その他			0		0	
管理費	3,002,465	0	3,002,465	0	3,002,465	
光熱水費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	電気・水道・ガス代
清掃費	400,000		400,000		400,000	清掃費
機械警備費			0		0	
設備保全費	602,465	0	602,465	0	602,465	
空調衛生設備保守	100,000		100,000		100,000	空調設備保守点検
消防設備保守	80,000		80,000		80,000	消防設備保守料
電気設備保守	180,000		180,000		180,000	電気設備保守料
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000		30,000	害虫駆除清掃保守料
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	212,465		212,465		212,465	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課		0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	19,084,010	0	19,084,010	0	19,084,010	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	1,340,083	0	1,340,083	0	1,340,083
自主事業 収支	△ 1,340,083	0	△ 1,340,083	0	△ 1,340,083

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「新吉田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,244,860		30,244,860		30,244,860	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000		5,802,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
収入合計	36,200,860	0	36,200,860	0	36,200,860	

支出の部

629,055

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,682,368	0	32,682,368	0	32,682,368	
本俸	22,282,368		22,282,368		22,282,368	給与本俸
社会保険料	4,300,000		4,300,000		4,300,000	健康保険料・厚生年金料・雇用保険料・労働保険
手当計	5,900,000		5,900,000		5,900,000	期末手当・超過勤務手当・通勤手当
健康診断費	100,000		100,000		100,000	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	100,000		100,000		100,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	特業手当等
事務費	629,055	0	629,055	0	629,055	
旅費	15,000		15,000		15,000	市内出張交通費
消耗品費	164,055		164,055		164,055	事務用品費・コピー用紙等
会議賄い費	5,000		5,000		5,000	会議費
印刷製本費			0		0	
通信費	380,000		380,000		380,000	電話代・後納郵便代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費			0		0	
振込手数料	20,000		20,000		20,000	月末支払い振込料・給与振込料
リース料	45,000		45,000		45,000	軽車両リース料等
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0		0	
事業費	1,978,694	0	1,978,694	0	1,978,694	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	1,076,694		1,076,694		1,076,694	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	118,000		118,000		118,000	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	784,743	0	784,743	0	784,743	
光熱水費	638,743		638,743		638,743	電気・水道・ガス代
清掃費	75,000		75,000		75,000	清掃費
機械警備費			0		0	
設備保全費	71,000	0	71,000	0	71,000	
空調衛生設備保守	22,000		22,000		22,000	空調設備保守点検
消防設備保守	7,000		7,000		7,000	消防設備保守料
電気設備保守	37,000		37,000		37,000	電気設備保守料
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000		5,000	害虫駆除清掃保守料
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	36,200,860	0	36,200,860	0	36,200,860	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	1,348,694	0	1,348,694	0	1,348,694	
自主事業 収支	△ 1,348,694	0	△ 1,348,694	0	△ 1,348,694	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:新吉田地域ケアプラザ

令和3年4月1日~令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	2,000			3,000		3,000	24,200		24,200						0
	その他	0	0	0	3,000	0	3,000	30	0	30						0
	事業・負担金収入			0			0			0						0
	介護予防ケアマネジメント			0	3,000		3,000			0						0
	その他事業収入			0			0	30		30						0
	介護利用料収入(食費)			0			0			0						0
				0			0			0						0
	その他			0			0			0						0
	収入合計(A)	2,000	0	2,000	6,000	0	6,000	24,230	0	24,230						0
支出	人件費			0	1,000		1,000	19,500		19,500						0
	事務費			0	500		500	1,500		1,500						0
	事業費			0	500		500	1,000		1,000						0
	管理費			0	500		500	1,500		1,500						0
	その他			0	3,000	0	3,000	0	0	0		0				0
	利用者負担軽減額			0			0			0						0
	消費税			0			0			0						0
	介護予防プラン委託料			0	3,000		3,000			0						0
				0			0			0						0
	その他			0			0			0						0
	支出合計(B)	0	0	0	5,500	0	5,500	23,500	0	23,500						0
	収支 (A)-(B)	2,000	0	2,000	500	0	500	730	0	730		0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	はぐピョン	2004年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	安心して子どもを遊ばせることができる場の提供と保護者の交流・情報交換のための場の提供。また、読み聞かせや保育ボランティア育成のための機会として開催している。	3:養育者及び乳幼児		毎月第2月曜日と第4木曜日の10時～13時にケアプラザの多目的ホールを開放して行なう遊び場。ボランティア等による手遊び、季節のイベントなど開催。		
2	さわやかクラブ	2005年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	高齢者転倒骨折予防体操会を定期開催することによる、介護予防と交流を目的とする。	1:高齢者		新田地区センターにおいて、毎月第1・3月曜日の10時～11時30分に行なう転倒骨折予防体操と交流のための茶話会。年1～2回程度のお楽しみ会など。		
3	新田クラブ	2002年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	【後方支援】 高齢者の引きこもり防止と交流の場の提供。現在は手芸サークル「オーキッドキルト会」に運営を移行中。	1:高齢者		新田地区センターにおいて毎月第1・3水曜日13:30～15:50に開催するミニデイサービス。手芸や編み物等のクラフトと囲碁・将棋・茶話会を行う。		
4	さわやか北部体操	2006年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	【後方支援】 新吉田北部町内会の保健活動推進員による転倒骨折予防体操会。	1:高齢者		新吉田北部町内会館において、月2回第2・4金曜日の10時～11時30分に行なう転倒骨折予防体操会。		
5	園芸ボランティア「みらい」	2001年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	【後方支援】 植栽の手入れを通じたボランティア活動団体の育成と継続支援。	1:高齢者		施設内の植栽の手入れなどの美化活動。近隣の単身高齢者宅の草刈り、庭木の手入れは、休止中。主には第1水曜日・第3水曜日に活動。		
6	さわやかクラブ虹	2002年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	【後方支援】 新田地区センターで行っているボランティアグループ虹を中心として運営する転倒骨折予防体操講座	1:高齢者		新田地区センターにおいて、月2回第2・4木曜日の10時～11時30分に行なう転倒骨折予防体操会。茶話会年1～2回開催。		
7	丘の上の音楽会	2011年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	現在、高齢者や子どもなどは、地域ケアプラザに関わっているが、それ以外の年齢層の関わりが少ない。関わりが少ない人達との関わりを増やすことでケアプラザへの関心を高め、地域の多くの方々が、困っている方を発見しケアプラザへつないでくださる応援者になって頂くための啓発。	5:地域		年4回開催。各季節ごとを目安に企画。出演予定者と調整の上、決定。		
8	丘の上の交流会	2015年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	近隣のグループホームやデイサービス等の施設を利用している高齢者を対象に、音楽会などのイベントを開催。福祉施設が多いエリアのつながり作りを行う。また、ボランティアで演奏やイベントを行ってくださる方の発掘と発表の機会の提供を行う。	1:高齢者	7:その他	年間4回程度を目安に、グループホームなどに声をかけて開催。演奏や踊りなどイベント出演して下さるボランティアの方をお願いする。		
9	デイサービスボランティア「デイのにわ」	2019年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	デイサービスの花壇をお手入れをきっかけに、様々なボランティア活動につながったり、要介護状態の高齢者のことを知っていただき、地域包括ケアを担う人材の発掘と育成をする。	7:その他	1:高齢者	月に2回定期的に花の植え替えや世話をを行う。季節の花や野菜など、デイサービスのご利用者様に喜んでもらえるように計画。また、趣味を通して地域の方が交流できる場を提供し、園芸活動以外にも関心を持っていただけるよう支援。		
10	はつらつ倶楽部	2016年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	近隣の元気高齢者に対し、デイサービスで積み上げたノウハウを活かしながら、健康寿命延伸のための運動プログラムと脳トレプログラムを提供する。	1:高齢者		月に1回、介護保険を使っていない65歳以上の高齢者に集まっていただき、ロコモティブシンドローム予防プログラム、ドリルなどの問題集を取り組んでいただく。バスポイントからの送迎と、ボランティアによる昼食を提供する。		
11	介護者のつどい	2011年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者の方々にいつでも悩みを話し合える場があるという思いを持っていただき、肉体的にも負担が軽くなることを目的として開催。	1:高齢者		前半はワークショップでセルフリフレクシュ、後半は茶話会の二部形式。奇数月の第2木曜日に開催。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
12	認知症サポーター養成講座	2020年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	・認知症についての講座 ・キャラバンメイトさんによる寸劇(認知症の方への関わり方や対応について) ・キャラバンメイトさんによる朗読(認知症の方の心情を綴った詩の朗読) ・キャラバンメイトの活動紹介とメイトになられた感想をインタビュー ・区やCPから情報提供。	5:地域	1:高齢者	新吉田地区・新吉田あすなろ地区それぞれのキャラバンメイトと相談しながら開催場所と日程調整を行い開催。		
13	出張相談会	2018年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	新吉田地域ケアプラザが担当地域エリアの端の高台に位置しているため、交通の便が良くないこと、ケアプラザの知名度が低いことが課題であった。①ケアプラザまで足を運んでいただくことが難しい地域の皆さまが気軽にお立ち寄りいただくこと、②地域にケアプラザの存在を身近に感じていただくことを事業目的とし開催。	5:地域	1:高齢者	毎月第3金曜日10時～12時に新吉田あすなろ連合町内会のご協力を得て、あすなろ会館に包括の職員が出向き出張相談会を開催。		
14	粋な男の健康講座	2014年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	男性にターゲットを絞った介護予防のための健康体操と栄養・口腔衛生の講座。	1:高齢者		全8回の講座。ラジオ体操を中心に男性向けに筋力アップをうたった内容の体操を行っている。体操ではラジオ体操の他にもヨガマットやセラバンド、ボールなどを使い、ストレッチやバランス力強化を目的とした運動を行っている。		
15	粋な男の料理教室	2011年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	男性をターゲットにした介護予防料理教室。	1:高齢者		年度内3回、開催予定。毎回、管理栄養士が介護予防をテーマとした献立を立て、実習と試食を行う。調理の前に栄養について10分程度の講座を行っている。		
16	共生まつり	1995年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	近隣の方へケアプラザや福祉について啓発するとともに、ケアプラザとかかわりのある活動団体のボランティア実践の場や、趣味活動団体の作品発表の場とする。	5:地域		10月に実施予定。法人内の施設と共催。		
17	者が教えるPPK(ピンピンきり)生活の秘訣	2017年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	協力医である高田中央病院の荏原先生のご協力を得て「医者が教えるPPK生活の秘訣講座」シリーズとして介護予防をテーマに開催。	1:高齢者		介護予防のテーマについて医師の視点から協力医の荏原先生からお話しいただく講義と、テーマに合わせた講師からの話しの2本立てで講座を開催。今年度のテーマについては、今後検討。		
18	おはなし会ワークショップ	2010年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子供向けお話し会を開催するための知識を深め、ケアプラザ事業の「はぐピョン」や地域の中の子育てサロンで活躍できる人材を育てる。	5:地域	3:養育者及び乳幼児	5日間の講座で前半3日間で絵本の読み方、わらべ歌、手遊びなどを講師から学び、後半2日間はケアプラザの子育てサロンで実践をする。		
19	高齢者虐待防止ハンドブック研修	2017年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	港北区版高齢者虐待ハンドブックの周知と活用の仕方について事業所向けに研修を行った。	6:事業者	5:地域	担当地区にある通所介護事業所等で、港北区高齢者虐待ハンドブックについて周知と事例を使って虐待研修を行う。通所介護事業所2か所での開催予定あり。他の対象事業所については今後検討。		
20	保健福祉セミナー	2015年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防入門講座として、介護予防についての講話などをおこない、介護予防の普及啓発につなげることを目的とする。	1:高齢者		新吉田地区保健活動推進員と共催企画のため、日程内容については今後検討。		
21	施設見学会	2010年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の方々が、将来の住まいや過ごし方を考える際の参考になるよう、地域の施設の協力を得て開催。	1:高齢者		老人保健施設カメラ、新羽地域ケアプラザとの共催事業。今年度の訪問施設については今後検討。		
22	体操ボランティア育成講座	2014年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	体操リーダー養成講座として開催。参加者から、ケアプラザ主催の体操会や地域の体操会で活動してくれるボランティアを発掘する。	5:地域	1:高齢者	5日間でストレッチや筋トレの講義と実践を行う。後半でデイサービスのご利用者さんの前で実技指導体験を行う。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
23	盲導犬に会いに行こう	2015年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	近隣の小中学生向けの福祉体験講座。盲導犬協会の協力で、視覚障がいについてや、盲導犬の役割などについて学ぶ。	4:子ども・青少年		盲導犬協会を訪問し、障がい当事者の話を聞いたり、盲導犬の訓練に携わっている方からの話を聞く。盲導犬PR犬との、体験歩行を行う。		
24	上手な花の育て方	2014年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の方向けのお花の育て方講座。趣味活動を通じて生活の充実を図ること、ケアプラザで活動している園芸ボランティアのメンバーの増員を図りたい。	5:地域		3回シリーズで土・肥料・病害虫などテーマごとに深めていく。寄せ植えの実習も行い、講座終了後も学んだことを実践しながら花を育てる楽しみを継続させていく。		
25	成年後見講座	2013年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	行政書士の先生等を招いて、成年後見や家族信託等をテーマに地域の方々向けに講座と個別相談会を開催。	1:高齢者	5:地域	講師や具体的な内容については今後検討。		
26	出張講座	2014年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	老人会などに出向き、介護保険制度や介護予防について講座を開催する。	1:高齢者	5:地域	老人会等、出張福祉講座を受けて下さるグループを今後検討する。		
27	GoGo健康元気づくり教室	2019年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の元気高齢者に介護予防やご自分の健康について関心を持っていただき、地域のみなさまの健康寿命の延伸を目指す講座。	1:高齢者		全4回で実施。スローエアロビックを取り入れ自宅でも気軽にできる全身ほぐしやフットケアなどを紹介。ロコモ予防体操や管理栄養士による栄養改善の講座と歯科衛生士による口腔栄養講座を行う。		
28	キャラバンメイトのつどい	2016年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域のキャラバンメイトが地域の企業やボランティア団体等に出向き、認知症の普及啓発活動をする。	5:地域		年度の後半～終わりに実施予定。地域のキャラバンメイトさんにお集まりいただき、年度内に開催したサポーター養成講座の振り返りと次年度の計画について話し合い、意見交換を行う。		